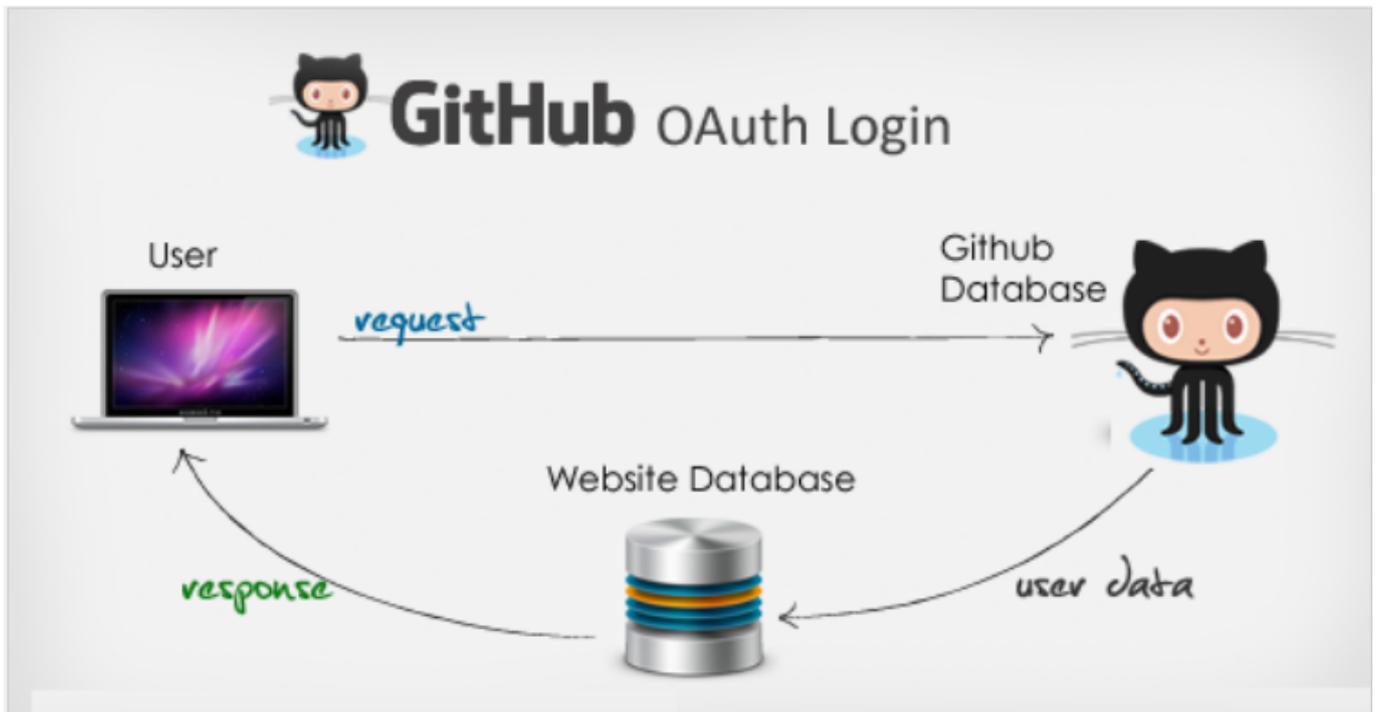


記事

[Toshihiko Minamoto](#) · 2022年3月17日 4m read

[Open Exchange](#)

IRIS Web アプリケーションからの GitHub アカウントによる OAuth2 認証



この記事では、以下のオンラインデモを通じ、GitHub アカウントを使用した OAuth2 認証の基本を説明します。
<https://dappsecurity.demo.community.intersystems.com/csp/user/index.csp> (SuperUser | SYS)

推奨事項:

- OAuth2 の概要: <https://learning.intersystems.com/course/view.php?id=252>
- ドキュメント: [OAuth2 クライアントとして InterSystems IRIS Web アプリケーションを使用する](#)
- 記事: <https://community.intersystems.com/post/intersystems-iris-open-authoriza...>

目的を達成するために必要な 3 つのステップ:

- ステップ 1: GitHub 認証サーバーにアプリケーションを登録する
- ステップ 2: InterSystems 管理ポータルから OAuth 2.0 クライアントを構成する
- ステップ 3: GitHub アカウントでログインするための API を呼び出す

それでは始めましょう。

ステップ 1: GitHub 認証サーバーにアプリケーションを登録する

GitHub 認証サーバーにアプリケーションを登録するには、GitHub アカウントが必要です。
GitHub アカウントにログインして <https://github.com/settings/developers> に移動し、[OAuth Apps (OAuth アプリ)] タブで [New OAuth App (新しい OAuth アプリ)] ボタンをクリックします。

アプリケーション名、ホームページ URL、説明、および認証コールバック URL を入力します。
認証コールバック URL は OAuth2.Response.cls
クラス ({domain}/csp/sys/oauth2/OAuth2.Response.cls) を参照する必要があることに注意してください。
[Register Application (アプリケーションを登録)] をクリックします。

すると、詳細ページが開きます。 [Generate a new client
secret (新しいクライアントシークレットを生成)] をクリックし、IRIS OAuth2
クライアントを構成する際に使用するクライアント ID と秘密鍵を保存します。
アプリケーションが登録されました。

ステップ 2: InterSystems 管理ポータルから OAuth 2.0 クライアントを構成する

[[システム](#)] > [[セキュリティ管理](#)] > [[OAuth 2.0 クライアント](#)]
に移動し、[サーバーの説明を作成] ボタンをクリックします。

上部にある [手動] ボタンをクリックし、以下の詳細を入力してサーバーの説明を保存します。

[[システム](#)] > [[セキュリティ管理](#)] > [[OAuth 2.0 クライアント](#)]
に戻り、[クライアント構成] をクリックします。

[一般] タブに詳細を入力します。クライアントリダイレクト URL は、アプリケーションを GitHub
に登録した際に入力した認証コールバック URL と同じであることに注意してください。

[クライアント資格情報] に、アプリケーションを GitHub に登録した際に生成したクライアント ID
とクライアントシークレットを入力し、クライアント構成を保存します。

ステップ 3: GitHub アカウントでログインするための API を呼び出す

オンラインデモ (<https://dappsecurity.demo.community.intersystems.com/csp/user/index.csp>) に移動し、
SuperUser | SYS でログインします。
トップメニューから [Login with GitHub (GitHub でログイン)] をクリックします。

これで、Oauth.cls ページが開きます。サインインを試す前に、必ず GitHub からログアウトしてください。
[GitHub Sign In (GitHub サインイン)] をクリックします。

システムは %SYS.OAuth2.Authorization
クラス (<https://docs.intersystems.com/latest/csp/documatic/%25CSP.Documatic.cls?...>) の
GetAuthorizationCodeEndpoint メソッドを使用して、GitHub 認証サーバーに移動します。

ログインに成功すると、システムは OauthRe.cls ページにリダイレクトします。

コードは <https://github.com/mwaseem75/DataAPPSecurity> のリポジトリから入手できます。

以上です！

[#GitHub](#) [#OAuth2](#) [#認証](#) [#InterSystems IRIS](#)
[InterSystems Open Exchange](#)で関連アプリケーションを確認してください

ソースURL:<https://jp.community.intersystems.com/post/iris-web-%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%81%8B%E3%82%89%E3%81%AE-github-%E3%82%A2%E3%82%AB%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%88%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B-oauth2-%E8%AA%8D%E8%A8%BC>